



看護補助者の院内研修会

1月18日と1月28日両日にわたり「皮膚裂傷について」と題し、看護補助者を対象に院内研修会を開催しました。

当院は現在、16名の看護補助者が従事しています。看護補助者は、移乗の援助や排泄処理、入浴介助など様々な場面で高齢の患者様に関わっています。

高齢者の皮膚は老化により弱くなっている上に、糖尿病や腎不全などの基礎疾患や薬剤によりさらに弱くなり、援助の際の皮膚裂傷のリスクが高くなっています。

今回の院内研修会で、あらためて皮膚裂傷のリスクとそれを防ぐ対策を学ぶことが出来ました。

これからも我々スタッフは高齢者の皮膚の特徴を踏まえ、患者様の状態を十分観察し、細心の注意を払って援助を行っていきます。



「感染防止に向けた当院の取り組み」

透析部 医療工学士 畠山泰規

2020年2月5日にクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号で新型コロナウイルスに感染した乗船客が確認された時には、これほどの感染拡大が日本で起きるとは予想していなかったと思います。

呉でも医療施設でクラスター発生するなど、コロナ危機が迫っている中、当院での発熱患者さんへの対応策として、感染防具使用に関する勉強会の実施や、複数の患者さんが同じ空間で長時間の治療を行う透析室などでは、対策として通常の空気清浄機より優れた機能を搭載した、清浄機の設置や発熱者との接触を減らす目的としてパーテーション工事等を行いました。



今後はワクチンの効果に期待しつつ、より有効な治療薬の開発を待つ中で、よりの確な感染対策に取り組んでいきたいと思っています。

事 八 日

毎年12月8日は新たに事を始めるといふ意味から「事始め」、2月8日は事を終えるという意味から「事納め」といい、「事始め」と「事納め」を合わせて「事八日」と言います。

「事」とは、祭事を表す言葉で、「コトノカミ」という神を祭るお祭りですが、「事始め」と「事納め」は、何を「コトノカミ」とするのかわかると例えれば、「コトノカミ」が「年神様」を迎えることを指す場合、12月8日がお正月準備を始める「事始め」となり、お正月の行事をすべて終わらせるのが2月8日の「事納め」です。

逆に「コトノカミ」が「田の神様」を指す場合は、お正月が終わって農作業を始める2月8日が「事始め」で、一年の農作業を終わらせるのが12月8日の「事納め」です。

「事納め」の有名な行事として針供養があります。

針供養とは、役目を終えた針を柔らかい豆腐やこんにやくに刺し、感謝を捧げるお祭りで、柔らかいものに針を刺すのは、今まで硬い生地などを刺してきた針に対し、最後は柔らかい所でお休みくださいという気持ちを表します。

針供養は東日本と西日本で違う日ですが、2月8日に行う社寺が多いようです。

因みに、広島県は針の生産量が全国一位で、縫針は国内生産量の20%、待針は国内生産量の97%を誇りますが、これは潘主浅野家が、下級武士の手内職として普及させたことに始まります。

また、事八日には「御事汁」と呼ばれる里芋、ごぼう、大根、小豆、人参、こんにやくなどを入ったお味噌汁をいただく風習があります。

厳しい寒さの続く2月、「御事汁」を食して体の芯から温まるのは如何でしょうか。



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：内科(交代制)	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：卜部・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：井料(脳神経内科)	午前：内科(交代制)

季節の風景



寒 椿